



# 明小だより

平成23年 7月 1日  
横須賀市立明浜小学校  
校長 小田部忠仁  
NO. 4

## 耐えることをいかに学ばせるのか

最近の子どもたちを見ていると「耐性」という「我慢する態度・力」が薄れてきているように思うのは私だけでしょうか？意外と保護者の皆さんも、子ども時代に「耐える」「我慢する」という経験をすることが少なかったのではないのでしょうか。戦後の品不足の社会では、誰かが教えなくても経験として学び、身につけてきたものです。しかし、社会が豊かになると、消費することや我慢しないことが美德とされる傾向が強くなってしまったのです。どんな生き物も、環境が良くなれば、それまでの生き方や体の作りを変化させるものです。ですから、作物などは、ある程度の厳しい環境（密集させて植え、植物間で競争させること）により強く丈夫に育てるのです。人間も同じだと思うのですが、そうはいても、保護者の方にとっては大事なお子さんです。できるものなら「無理はさせたくない」「冒険はさせられない」「安全に」「無事に」「楽しく」と考えるのも理解できます。

しかし、そこは「家庭教育」（我が家の子育て方針）の中で、学校のような集団ではできない「経験」「活動」「学び」をしていただきたいものです。ご家族で「武山」に登るのも良いでしょう。観音崎公園でハイキングするのもいいでしょう。また、久里浜から三浦海岸まで歩くのもいいでしょう。何かしら負荷をかけ、やり遂げたときの「達成感」を子どもに感じさせるとともに、保護者として、子どもと達成感を共有しながら子育ての充実感を味わってほしいと思います。

その家庭や地域での経験や学びが、学校の教育活動において発揮され磨かれ・伸ばさせることで、本校の目指す子ども像に近づくのです。

夏休みを控え、様々な計画を立てると思いますが「お金をかける」ことよりも「時間をかける」「手間をかける」ことを優先し、学校ではできない経験や学びをしてほしいものです。

【一例】※1 図工の作品を、時間をかけて丁寧に作り仕上げる

※2 身近な自然を調べたり、育てたりして、不思議なこと・驚いたこと・感動したことを、まとめる＝自由研究

※3 アンケートや調べたことを、「表や絵グラフ等」にまとめる。

## 我が子の課題は、なんでしょう？

いよいよ、夏休み前の「個人面談」が実施されます。お子様の4月からの学習状況や生活状況を、直接学級担任から聞くことができる時間です。日頃、家庭で感じている「我が子のちょっと困ったこと」「気がついたこと」「保護者として困り感を持ち始めていること」を学級担任にお話しいただき、学校での様子と併せて「対応＝解決策」を考えていくことができる面談にさせていただきたいと思います。学校からは、基礎基本の習得状況や集団生活の様子などを話す中で、夏休み中の取り組みや9月からの努力点を説明させていただき共有していきたいと考えております。

※限られた時間です。事前に、メモなどにまとめておいていただくと、有効に面談ができます。

※待っている方のことを考え、できるだけ予定の時間で進行していきますので、ご協力をお願いします。また、今回の個人面談で時間が足りない場合は、各担任まで別途ご相談ください。

（ふれあい相談員やスクールカウンセラーとの面談もできますので事前予約をお願いします。）

教育目標 ・よく考える子 ・思いやりのある子 ・進んでやる子 ・命を大切にすること

# 学校からのお願い

①梅雨の合間に感じる「夏の気配」は、昨年の猛暑を思い起こさせるものになっております。「暑い夏」になりそうです。そこで心配になるのが「登下校中の熱中症」です。2キロメートルもの通学路を歩いて登下校する子どもたち。木陰ばかりではなく、日光に照らされ、汗を拭きながらの登下校になっております。そこで、昨年度と同様に「熱中症対策で水筒を持たせる」ことについて、保護者の判断にお任せすることとしました。中身については「衛生上」から「水」のみといたします。詳しい約束事などは、別紙でお知らせいたします。また、1年生は黄色い帽子をかぶって登下校しておりますが、それ以外の学年は、直射日光で頭部や頸部を温められないように帽子をかぶらせるなどの工夫をすることもお考えください。ただし、視野が狭くなるようなデザインは不適です。

## 学年の取り組み・保護者の皆様のご質問から

※学校の様子がホームページで適宜更新されております。ぜひ一度ご覧ください。

<http://schoolnet.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp/schoolnet/element/137akehama/index.html>

横須賀市教育委員会 HP のスクールネットから明浜小学校 HP にくることができます



「命を大切にする子」これは、今年度から本校の学校教育目標に追加した「目指す子ども像」です。自分の命を大切にすることはもちろんですが、ほかの命「人」「動植物」も大切にしたいと考えました。

6年生が6月18日（土）に「久里浜商店街」の皆様のご協力で「インターンシップ（職業体験）」をしました。様々な業種の商店で、本物の「仕事」をさせていただきました。地域の商店街の皆様が、明浜小の子どもたちの成長を願って（企画運営＝PTA 運営委員会）子どもたちを受け入れていただき、「子どもは地域の宝」という思いが強く伝わってきました。心より感謝したいと思います。この次は、保護者の皆さんの職場を見せてあげてほしいと思います。いかに今の生活を支えるために家族が努力をしながら仕事をしているのか？この当たり前の生活が、自分ひとりの力ではなく家族みんなの力があるから成り立っていることを教え伝えてほしいのです。本気で取り組んでいる姿は子どもにも伝わります。

※先日の土曜参観日でご来校いただいた際、「東日本大震災にかかわる募金活動」に多数のご家族の方にご賛同いただきました。ありがとうございました。委員会活動の中で子どもたちが考えた援助活動のひとつです。ここにも子どもを支える家族の心が見えてきます。今回は募金という活動でしたが、空き缶・ペットボトルのキャップなどを集めて、世界の子どものために役立つ取り組みも継続しております。明浜の子のさらなる成長を期待しています。